

緑豊かな天白区の相生山  
緑地。地元の人によると、  
「昔は松の低木が生える程  
度で、はげ山に近かった」  
というから面白い。松の落  
ち葉を拾い集めて風呂のた  
き付けに使ったりする習慣  
がなくなり、徐々に土が肥  
えて多種多様な樹木が育っ  
ていったらしい。

公園緑地の予定地として  
開発規制がかかり、名古屋  
の街中にぽっかりと残った  
緑。その中を横断する市道  
の建設が、四年前に中断し  
たままになっている。

工事で木が切り払われた  
跡には日の光が入り、周囲

## 森くゆるり変わる

とは異なる種類の木が芽吹  
いた。現地を歩くと、森は  
生きていると実感する。  
「私たちが目にしているの  
は、今の瞬間だけ存在して  
いる森の姿です」。定期的  
に散策会を開く南区の古川  
善嗣さん(六三)は、長い森の  
歴史に思いをはせる。

適度に人の手が入った里  
山はまったくの自然な状態  
より、むしろ生物種が多様  
と聞く。民家が点在し、散  
策路が整備された相生山な  
らではの景色がある。道路  
の是非はさておき、まずは  
足を運んでみることをお勧  
めしたい。  
(木下大資)

